

令和3年度

全国学力・学習状況調査結果の分析と検証

音更町の学力の傾向と改善のポイント

音 更 町 教 育 委 員 会

I 調査・研究の目的と方法等

1 調査・研究の目的

本調査・研究は、本町における児童生徒の学力・学習状況を把握、分析し、学習指導の改善や学習意欲の向上に資する基礎資料を提示することを目的とする。

2 調査・研究の方法

- (1) 本町の小・中学校の調査結果について、「令和3年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイントについて ～北海道（公立）における調査結果～」(北海道教育委員会)を参考に分析・考察した。
- (2) 国語、算数・数学の設問別調査については「傾向」「正答率の高かった問題」「正答率の低かった問題」「無回答率の高かった問題」を掲載した。また、質問紙調査については、音更町教育推進の重点に沿い、授業改善や今後の指導等に資する設問を抜粋、分析を行った。

3 調査・研究の内容

- (1) 全国学力・学習状況調査 調査結果の概要（音更町の傾向の把握）
- (2) 全国学力・学習状況調査結果分析①
全国を100として正答率の全国比が「最も高かった問題」「最も低かった問題」
- (3) 全国学力・学習状況調査結果分析②
主に無回答率が全国比100を上回り、無回答率の数値が「特に高かった問題」
- (4) 質問紙の分析
 - ① 家庭学習等の時間
 - ② 算数・数学の授業内容が分かるか
 - ③ 課題解決に向けた主体的取組
 - ④ 話し合い活動による思考の深化
 - ⑤ 将来の夢や目標
 - ⑥ 自尊感情
 - ⑦ いじめに対する認識
 - ⑧ 家庭学習の計画性

※平成28年度から経年比較が可能な設問を選択し直し、経年比較を行なっている。
- (5) 調査日
令和3年5月27日（木）
- (6) 調査を実施した児童生徒数

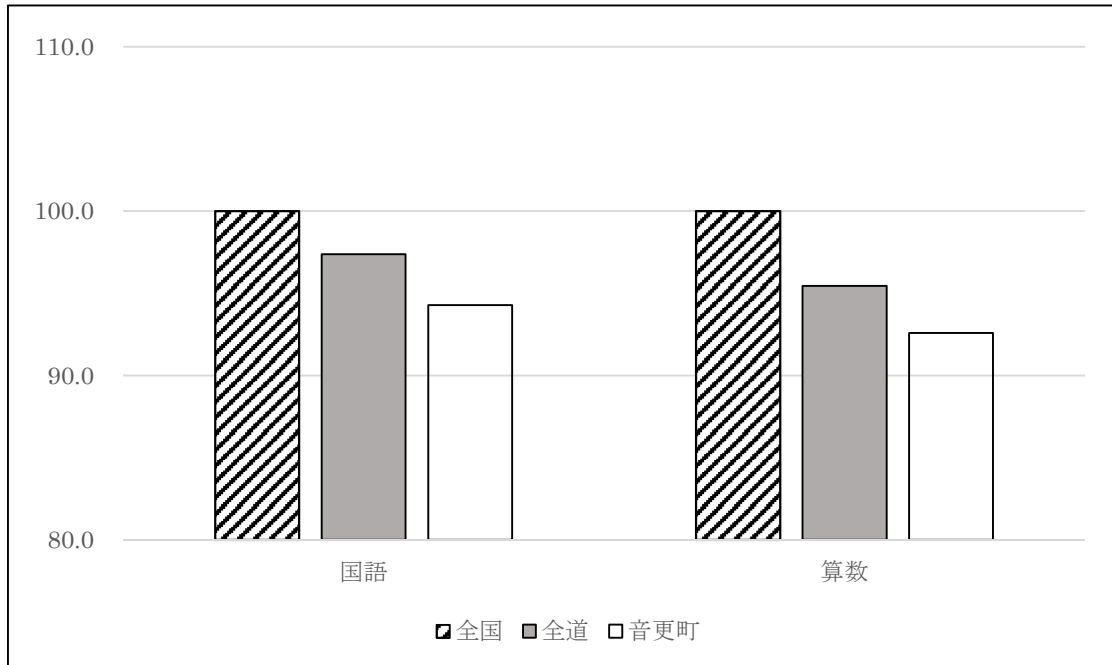
	全 国	北海道	音更町
小学校	1,005,600人	36,456人	456人
中学校	932,995人	34,700人	411人

※ 児童生徒数・質問紙の分析は、全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所）及び北海道版調査報告書（北海道教育委員会）を資料として引用した。

Ⅱ 学力調査結果の概要

小学校

※ 全国を 100 として比較



<総評>

国語も算数も全国平均・全道平均を下回る結果になった。国語は全国平均－3.7 ポイント、算数は全国平均－5.2 ポイントである。

<学習指導要領の内容・問題形式>

国語は、「知識及び技能」における「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均を若干下回っている。「思考力、判断力、表現力等」においてはどれも全国平均より5%以上低くなっており、特に「B 書くこと」は全国平均より 8.8 ポイント低かった。

文章中の語句と同じ使い方として適切なものを選択する問題の正答率が高く、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題の正答率が低かった。

文章の下書きを詳しく書き直す問題の無回答率が高かった。

算数は、全領域・観点において全国平均を下回っている。その中で、一番低かったのは、「図形」の領域で全国平均を 8.4 ポイント下回った。

棒グラフから数量を読み取る問題の正答率が高く、二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く問題の正答率が低かった。

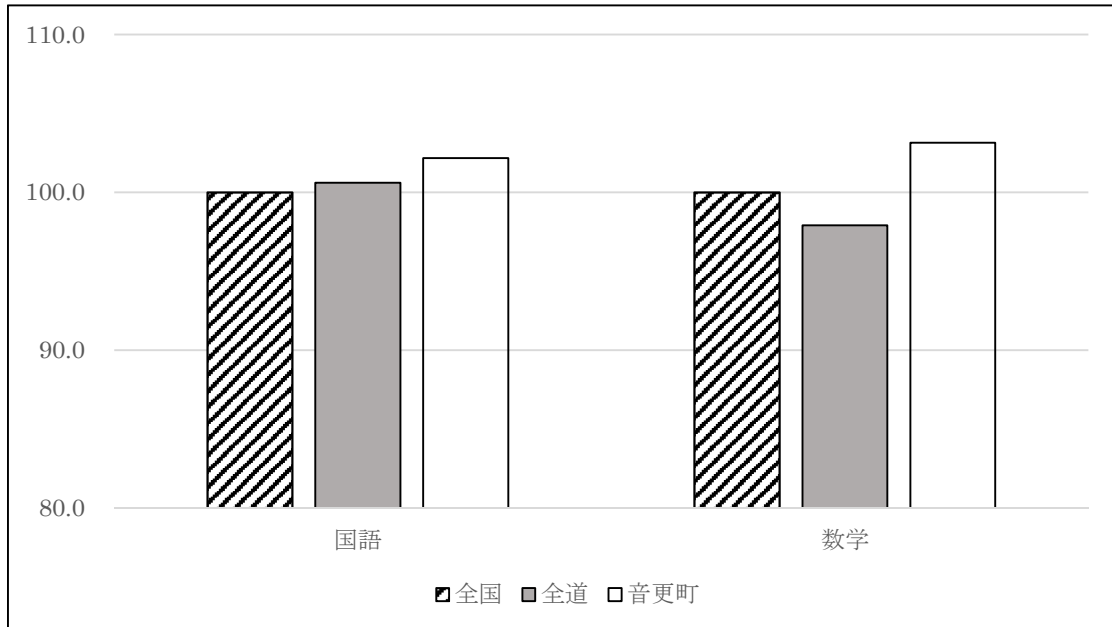
帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題の無回答率が高かった。

<その他>

一昨年は国語は全国平均を上回り、算数は全国平均に近い結果となっていたが、今年度は落ち込みが見られる結果となった。

中学校

※ 全国を 100 として比較



<総評>

国語・数学において全国平均をやや上回った。国語は全国平均+1.4ポイント、数学は全国平均+1.8ポイントである。

<領域・観点・問題形式>

国語は、「読むこと」の領域が全道・全国の平均より低かったものの、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では全道・全国の平均を上回った。問題別に見ると、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつという趣旨の記述式問題で正答率が全国平均を7.3ポイント下回った。

数学は、「数と式」「関数」の領域が全国平均を若干上回り、「図形」の領域では全国平均を3.7ポイント上回った。「資料の活用」の領域では全国平均をわずかに下回った。問題別にみると、整式の加法と減法の計算をする問題が全国平均より2.5ポイント低かった。ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する問題は全国平均より8.2ポイント高かった。記述式の問題であっても正答率は全国平均を上回っている。

<その他>

一昨年も今回も国語・数学は、全国平均を上回っており、安定した傾向が続いている。

Ⅲ 学力調査結果の分析①

全国を 100 としてみたときに
正答率の全国比が最も高かった問題と最も低かった問題

小学校国語

○ 正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

3

丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた「文章の下書き」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたまま^アころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。^イ時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方に^ウ積み重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、^エげんいんなのだと思います。^オその他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあります。それでも、きちんとかたづければ、

わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。

きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづければよいという考えもあるかもしれません。確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができますと思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

(次ページへ続く)

三 丸山さんは、「文章の下書き」を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 丸山さんは、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、ウ、エを漢字に書き直すことにしました。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。

次の——部エを漢字でていねいに書きましょう。

かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

問題3 三 (1) ウの正答率全国比130.7 (正答率71.1%)

「丸山さんの【文章の下書き】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)」問題

小学校国語

- 正答率の全国比が最も低かった問題（全国を100としてみたとき）

1

上野さんの学級では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの「スピーチメモ」、「スピーチ」から「資料①」から「資料④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「スピーチメモ」

〔はじめ〕
○話題の提示（資料①）
・新五千円札の「顔」
・津田さんの説明

〔中〕
○津田さんの業績
・業績1（資料②）
・業績2（資料③）
・業績3（資料④）
女性の英語教師を育成

〔終わり〕
○自分の感想

「スピーチ」

（資料①）を示すみなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになり、津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

（資料②）を示す。一つは、「女子英学塾」を設立したことです。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんど

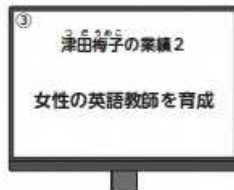


ありませんでした。

（資料③）を示す。もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したことです。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかかげていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

（資料④）を示す。この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思えます。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることにつながったのだと思いました。



次ページに続く

「上野さんは、『スピーチメモ』を作り、『スピーチ』の練習をしています。業績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 事実と感想とを区別できるように、「中」で業績、「終わり」で自分の感想を話している。
- 2 感想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。
- 3 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの業績、「中」でもう一つの業績を話している。
- 4 事実と感想とを関連づけられるように、「中」で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

問題1 正答率全国比87.1 (正答率67.5%)

津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する。

小学校算数

○ 正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

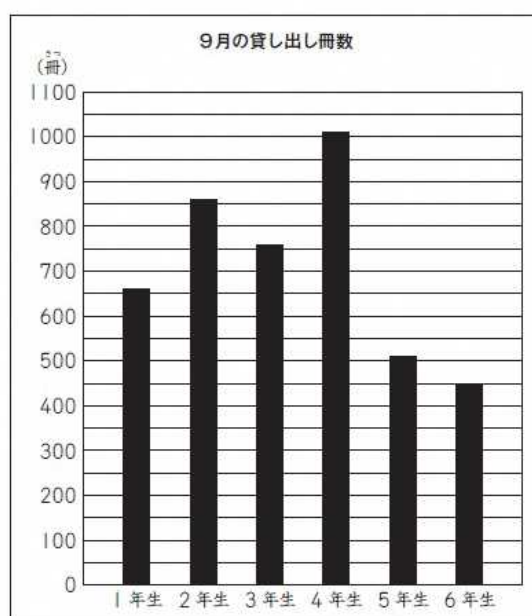
3

ひよりさんたちは、10月の図書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。



最近、5年生と6年生は、ほかの学年より本を借りていないのではないのでしょうか。

そこで、9月の貸し出し冊数を調べ、下のグラフに表しました。



(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。

下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。
- イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。
- ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。
- エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

問題 3(2) 正答率全国比100.9 (正答率91.5%)

「学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ」問題

小学校算数

- 正答率の全国比が最も低かった問題（全国を 100 としてみたとき）

2

図 1 のような直角三角形があります。

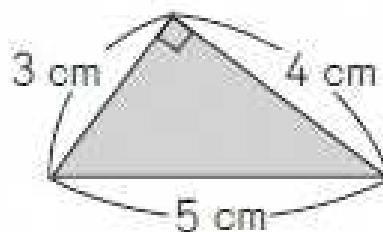


図 1

- (1) 図 1 の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

問題 2 (1) 正答率全国比 72.2 (正答率 39.8%)

「直角三角形の面積を求める式と答えを書く」問題

中学校国語

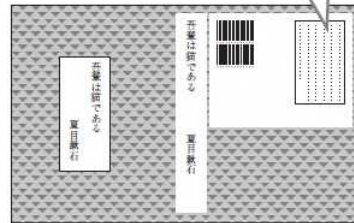
○ 正答率の全国比が最も高かった問題（全国を 100 としてみたとき）

3

次は、夏目漱石の作品「吾輩は猫である」の本のカバーに書かれている「紹介」と、「文章の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

紹介

中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



文章の一部

（ここまでのあらすじ） 苦沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶島で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶島の中で寝ころびながら、いろいろな雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって、下のごとく質問した。

「おめえはいままで、鼠を何びきとったことがある。」

智識は黒よりもほど発達しているつもりだが、腕力と勇気とにいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事実が事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はどう思うと思っ、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からびんとつばついている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけにとどこ足りないところがあって、彼の気遣いを感じたようにのどをころころ鳴らして謙遜していれば、はなはだ御しやうい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弁護してますます形勢を悪くするのも愚である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしゃべらしてお茶をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年であるから、だいふんとうたろう」と、そそのかしてみた。

次ページに続く

果然彼は、塙壁の欠所に啖喊して来た。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたらう」とは、得意気なる彼の答えてであった。彼はなお語をつづけて、「鼠の百や二百は一人でいつでも引き受けるが、いたち、つてえやつは手に合わねえ。一度、いたちに向かつて、ひどい目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石灰の袋を持って縁の下へはいこんだら、おめえ、大きないたちの野郎がめんくらつて飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたち、つてけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしょうつて気で追っかけて、とうとうどぶの中へ追いこんだと思ひねえ。」

「うまくやつたね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つ尻をこきやがつた。くせえのくさくねえのつて、それからつてえものはいたちを見たと胸が悪くならあ。」

彼はここにいたつて、あたかも去年の臭気を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景気をつけてやるうと思つて、

「しかし鼠なら、君ににらまれては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにふとつて色つやがいいのだらう。」

黒のこきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は啖然として大息していう。

「考げえるとつまらねえ。いくら稼いで鼠をとつたつて——いつてえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえ。人のとつた

鼠をみんな取りあげやがつて、交番へ持つてゆきあがる。交番じゃ、だれがとつたかわからねえから、そのたんびに五銭ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかけでもう一円五十銭くらいもうけていやるくせに、ろくなものを食わせたこともありやしねえ。おい、人間でもあ体のいい泥棒だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらの理屈はわかるとみえて、すこぶるおこつたようすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々気味が悪くなつたから、いいかげんにその場をこまかして、うちへ帰つた。

このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になつて鼠以外のこちそうをあさつてあるくこともしなかつた。こちそうを食うよりも寝ていたほうが気楽でいい。

〔夏目漱石「吾輩は猫である」(二)による〕

〔注1〕 氣煩 〓 燃え上がるやうな盛んな意。

〔注2〕 啖 〓 やすい 〓 思うやうに扱いやすい。

〔注3〕 お茶をにごすにしくはない 〓 こまかすのが単もよい。

〔注4〕 果然彼は、塙壁の欠所に啖喊して来た 〓 ここでは、予想どおり「黒」が誘いに勢い込んで来た、ということ。

〔注5〕 啖然として大息して 〓 ため息をついて嘆いて。

〔注6〕 交番へ持つてゆきあがる 〓 当時は、公衆衛生上、鼠退治を奨励し、とつた鼠を交番で買い上げた。

三 線部②「反対の結果を呈出した」とありますが、このことは「黒」のどのような様子から分かりますか。『文章の一部』の中から探し、抜き出しなさい。

問題3 三の正答率全国比107.3 (正答率76.2%)

『反対の結果を呈出した』について、このことが分かる『黒』の様子を文章の中から抜き出す問題

中学校国語

- 正答率の全国比が最も低かった問題（全国を 100 としてみたとき）
く 前頁の「正答率の全国比が最も高かった問題」と同じ問題³ く

四 **【紹介】**に〳〵線部「様々に評価する」とありますが、**【文章の一部】**では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 **【文章の一部】**から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をし

ていることが分かるのかを書くこと。

条件2 **条件1**のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--

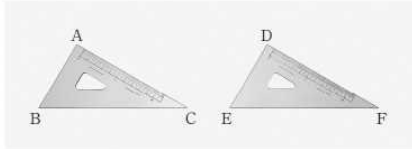
問題³ 四の正答率全国比 64.4 (正答率 13.2%)

『吾輩』が『黒』をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く」問題

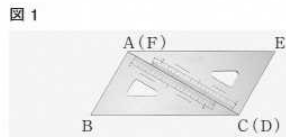
中学校数学

○ 正答率の全国比が最も高かった問題（全国を100としてみたとき）

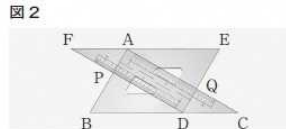
- 9 30°, 60°, 90°の同じ三角定規を2つ用意し、それぞれ△ABC, △DEFとします。直輝さんと由衣さんは、この2つの三角定規を組み合わせてできる四角形について考えることにしました。



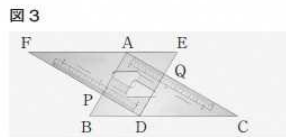
二人は、2つの三角定規を右の図1のように、点Aと点F、点Cと点Dが重なるように並べました。このとき、四角形ABCEができます。



次に、図2のように、点Dが辺BC上にあり、辺EFが辺BCと平行になるように、△DEFを△ABCに重ねました。辺ABと辺FD、辺EDと辺ACの交点をそれぞれ点P、Qとすると、四角形APDQができます。

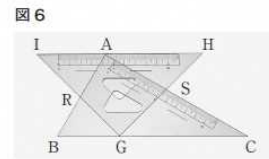


そして、図3のように、点Dが辺BC上にあり、辺EFが辺BCと平行になるように、△DEFを左に動かしました。

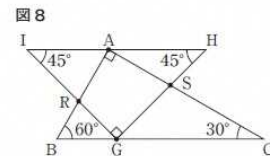
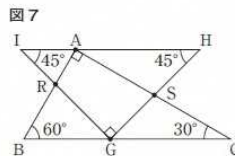


- (3) 二人は、左に動かす三角定規を、斜辺を底辺としたときの高さが△ABCと等しい45°, 45°, 90°の三角定規に変えて、重なったところのできる四角形について考えることにしました。

右の図6のように、45°, 45°, 90°の三角定規を△GHIとし、辺ABと辺IG、辺HGと辺ACの交点をそれぞれ点R、Sとすると、四角形ARGSができます。



点Gが辺BC上にあり、辺HIが辺BCと平行になるように、△GHIを左に動かしたとき、二人は、四角形ARGSが長方形にならないと考え、次のような図7、図8をかきました。



二人は、図7、図8で、四角形ARGSが長方形にならないことから、四角形ARGSがどんな四角形になるか話し合っています。

直輝さん「△GHIを動かすと四角形ARGSの4つの辺の長さはそれぞれ長くなったり短くなったりするよ。角の大きさはどうなるかな。」
由衣さん「∠RASと∠RGSの大きさはそれぞれ90°で変わらないね。∠ARGと∠ASGの大きさはどうかな。」

△GHIを動かしても、四角形ARGSの∠ARGと∠ASGの和はいつでも180°になります。このほかに、∠ARG、∠ASGの大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。

問題9 (3) 正答率全国比128.5 (正答率37%)

「∠ARGや∠ASGの大きさについて、いつでもいえることを書く」問題

中学校数学

○正答率の全国比が最も低かった問題（全国を 100 としてみたとき）

1 $(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算しなさい。

問題 1 正答率全国比 96.8 (正答率 74.6%)

「 $(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算する」問題

IV 学力調査結果の分析②

主に無回答率が全国比 100 を上回り，無回答率の数値が特に高い問題

小学校国語

○ 無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率の数値が特に高い問題

3

丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた【文章の下書き】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたままアころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。イ時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウつみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。オその他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあります。それでも、きちんとかたづければ、

わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづければよいという考えもあるかもしれません。確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができると思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

(次ページへ続く)

小学校算数

○ 無回答率が全国比 100 を上回り、無回答率の数値が特に高い問題

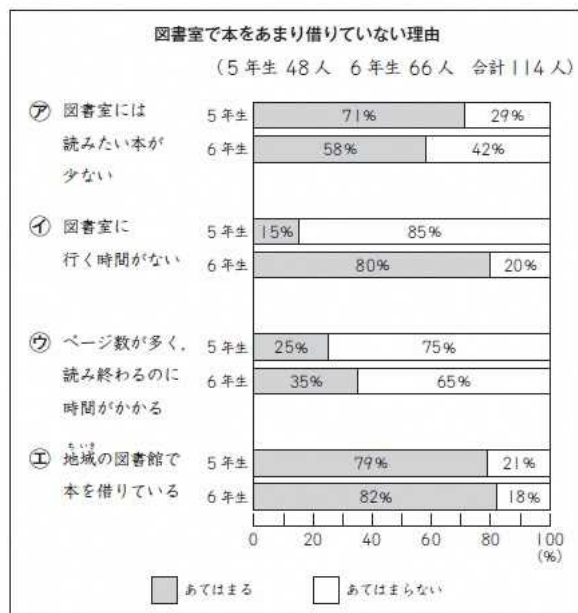
3

(4) 次に、ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書館で本をあまり借りなかった 114 人に着目しました。



図書館で本をあまり借りていない理由について、5 年生と 6 年生で、ちがいがあるのでしょうか。

そこで、114 人分のアンケート調査の結果を、5 年生と 6 年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、左のグラフをもとに、気づいたことについて話合っています。

そうたさんとあやのさんは、左のグラフの中の⑦から⑩までの 4 つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。



5 年生と 6 年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。



5 年生と 6 年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて、5 年生と 6 年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた 5 年生と 6 年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

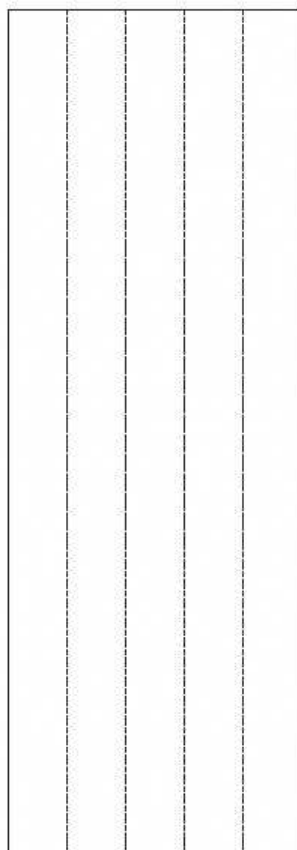
問題 3(4) 無回答率全国比 134 (無回答率 13.8%)

「帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く」問題

中学校国語

○ 無回答率の数値が特に高い問題

〈 「正答率の全国比が最も高かった問題」と同じ問題³ 〉



※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

四 「紹介」に〴〵線部「様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

問題³ 四の無回答率 21.7%

「『吾輩』が『黒』をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く」問題

中学校数学

○ 無回答率の数値が特に高かった記述問題

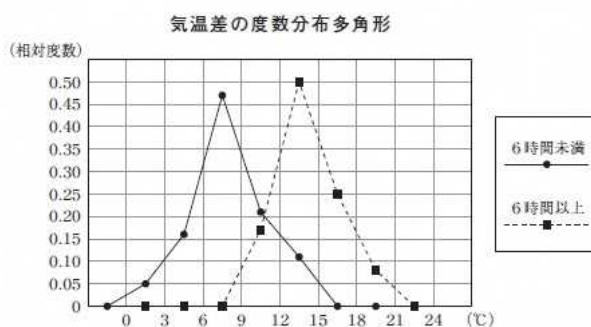
8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

調べたこと

日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/秒)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.4	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

○日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

問題8 (3)の無回答率 28.9%

『日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある』と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する

問題

V 質問紙の分析

今年度の「教育行政執行方針」や音更町の重点課題解決に直結する質問項目に絞った分析を行った。

『確かな学力の向上』から「家庭学習習慣の定着」「分かる授業」「主体的課題解決」「話し合い活動」に関する項目を選択した。

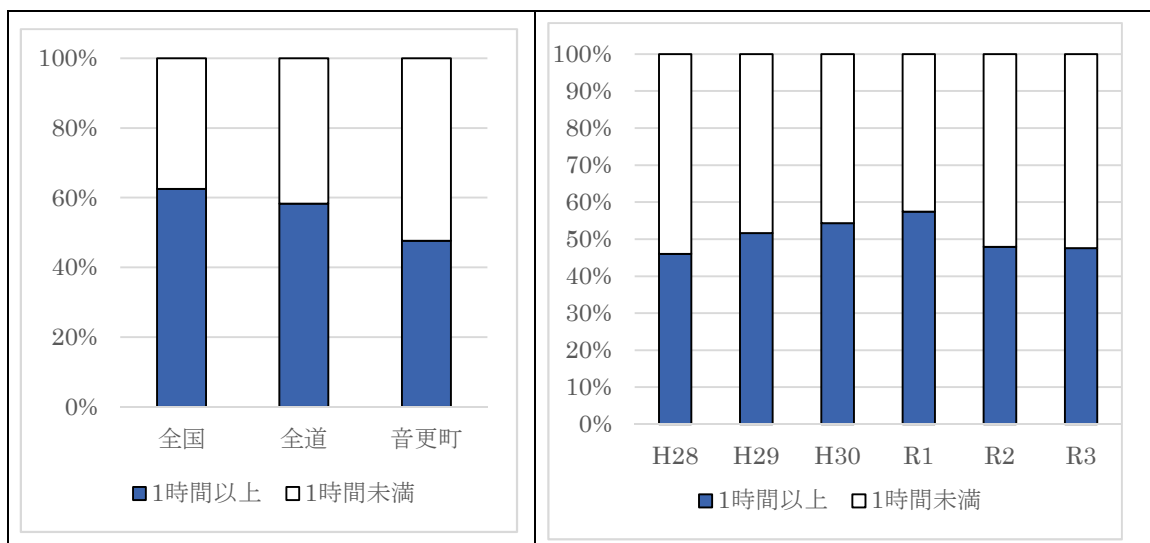
また、『豊かな心の育成』から「将来の夢や目標」「自尊感情」「いじめ」に関する項目を選択した。

1. 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

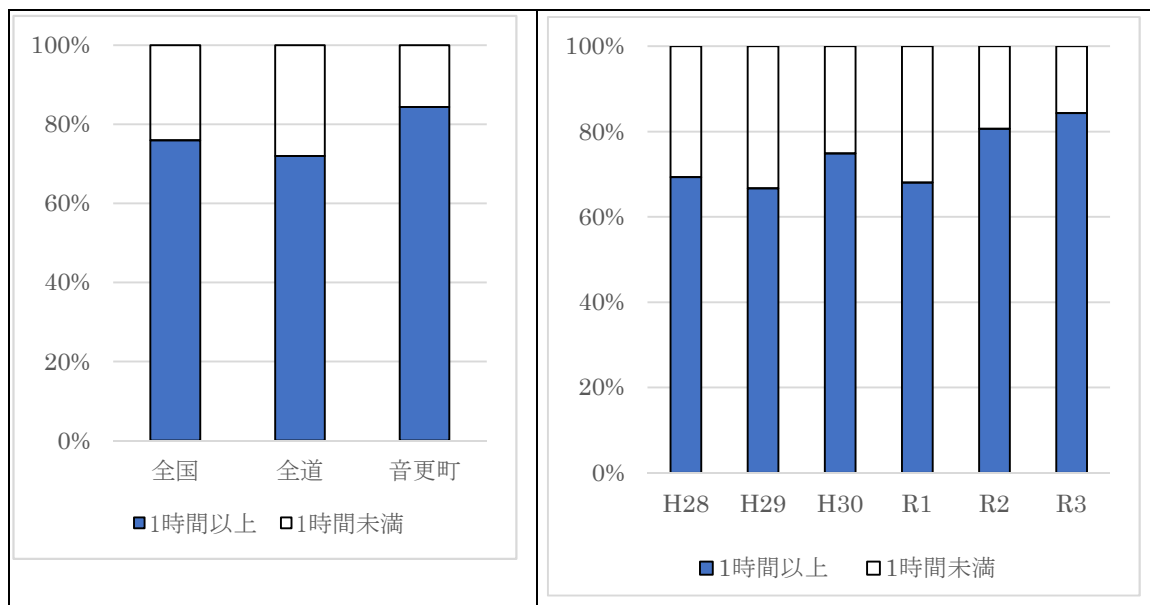


「1時間以上勉強している」という回答が半数を若干下回っている。経年比較では、「1時間以上勉強している」という回答は徐々に増えてきていたが、今年度は前回より9.8%低くなった。なお、音更町6年生児童の34.5%が、「30分以上、1時間より少ない」と回答している。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



全体の84.4%が「1時間以上勉強をしている」と回答している。また、全体の17.3%が「3時間以上勉強をしている」で全国、全道を上回った。経年比較では、「1時間以上勉強をしている」と回答した割合が、前回より16.2%増え、家庭での学習習慣の定着が上向き傾向にある。

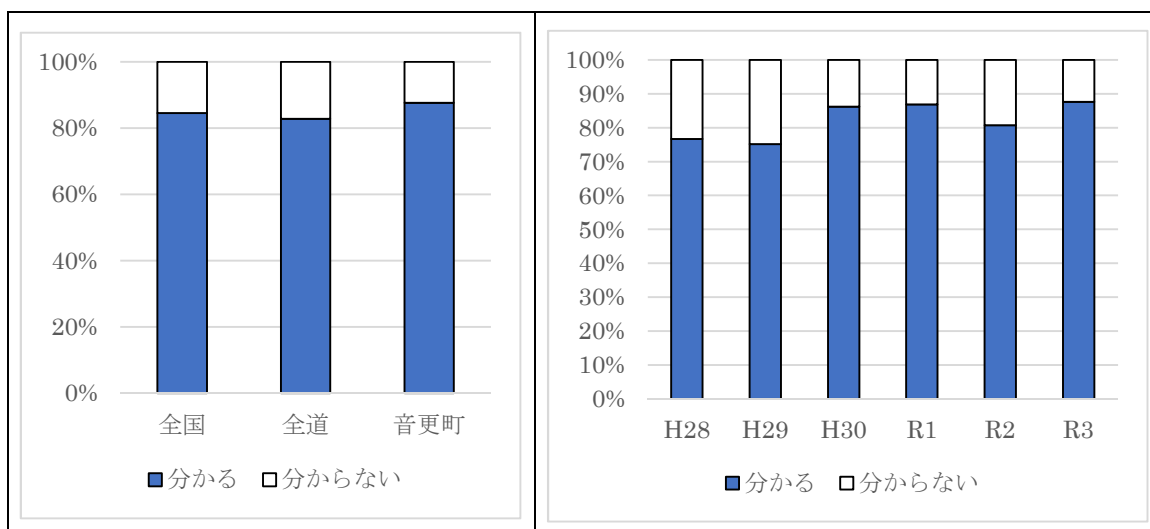
2. 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

※グラフの「分かる」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

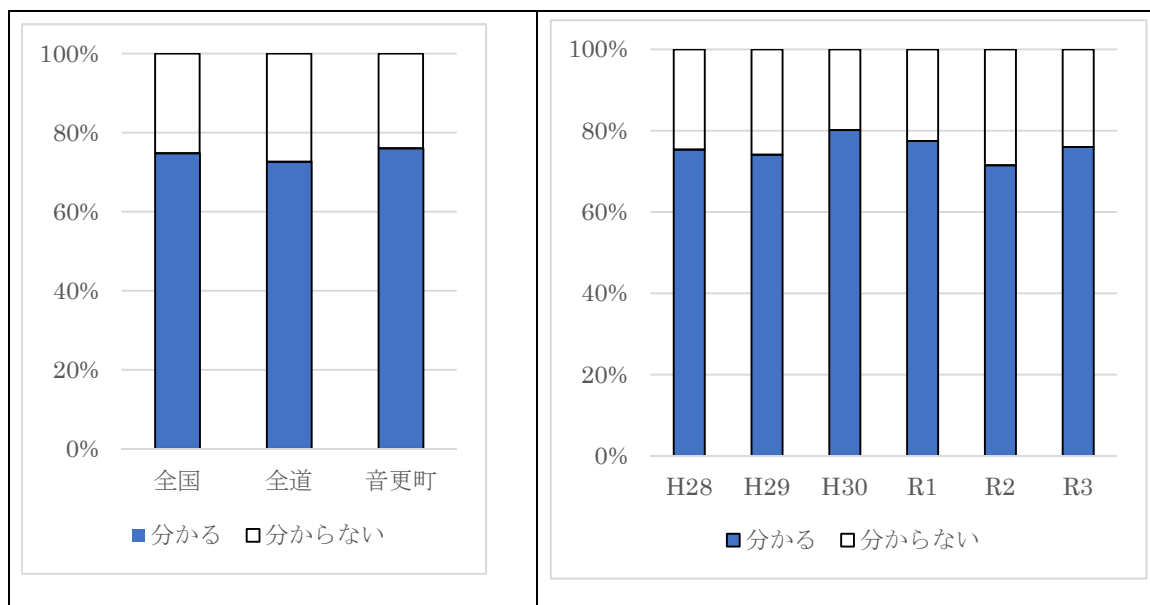


「分かる」と回答した割合は全国より3ポイント、全道より4.8ポイント上回った。経年比較では、H30年度から「分かる」の回答率が86%を超えているが、今回は87%を超え、高い水準を維持している。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「分かる」と回答した割合は、全国より1.5ポイント、全道より3.7ポイント上回った。「分からない」と回答した中では「どちらかと言えば、当てはまらない」という回答率は全国より1.3ポイント高いものの、「当てはまらない」という回答率は全国より2.6ポイント低い結果である。

経年比較では、「分かる」の回答率が76.1%となり、前回とほぼ同等であった。

3. 昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組ん

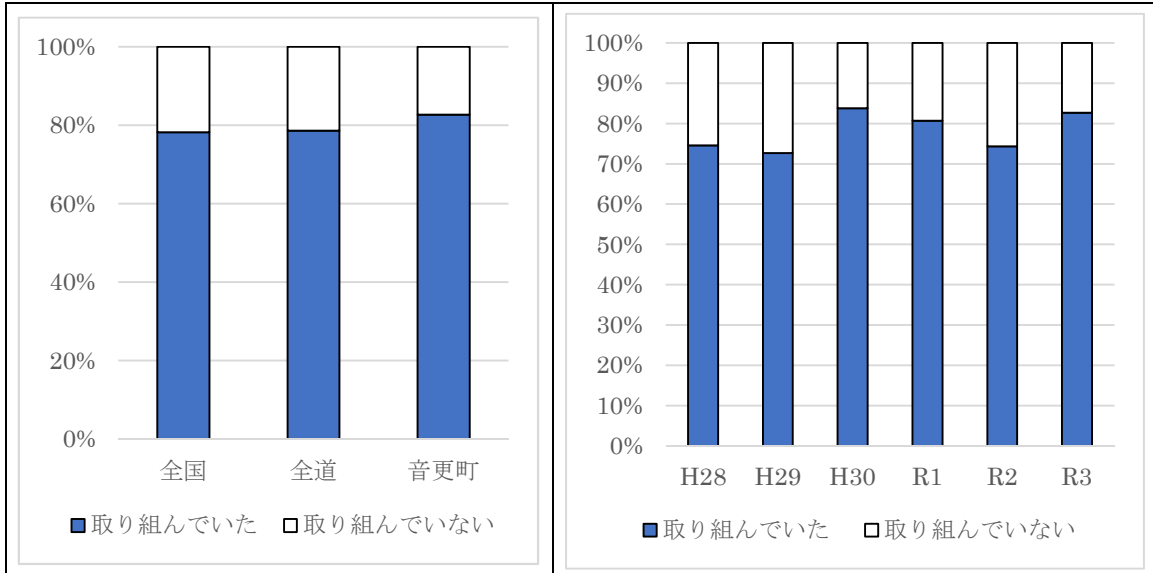
でしたといますか。

※グラフの「取り組んでいた」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

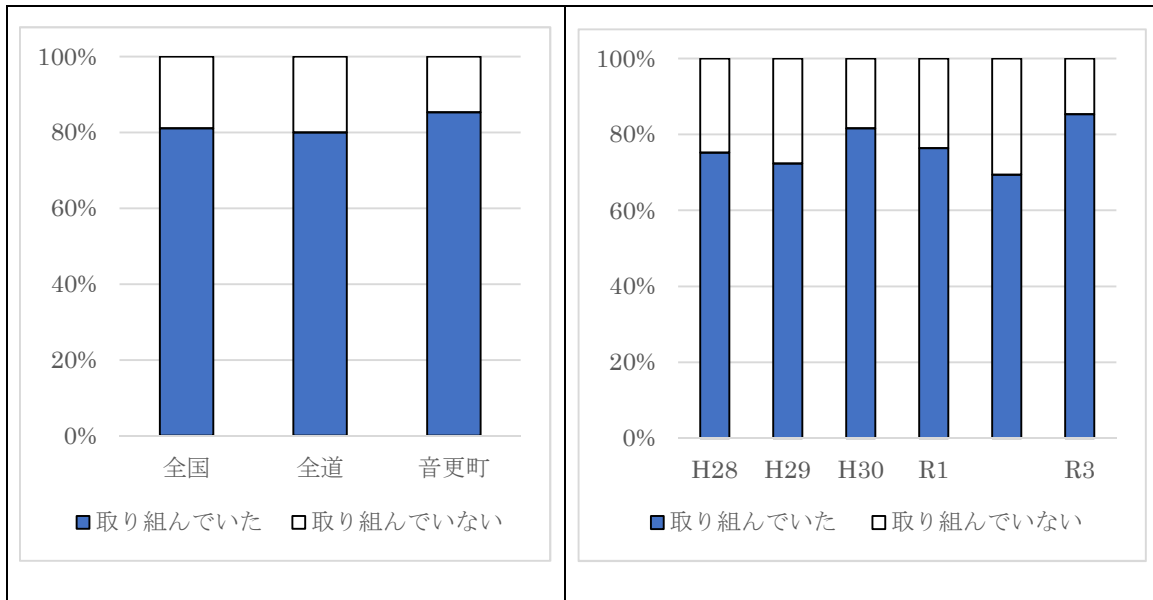


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、全国より4.5ポイント、全道より4.4ポイント上回った。経年比較では、「取り組んでいた」の回答率がH30年度から80%を超えており、今年度も82.7%と高い水準であった。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は、全国より4.4ポイント、全道より5.5ポイント上回っている。経年比較では、「取り組んでいた」の回答率が前回は9ポイント上回り、85%を超える高い水準であった。

4. 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思

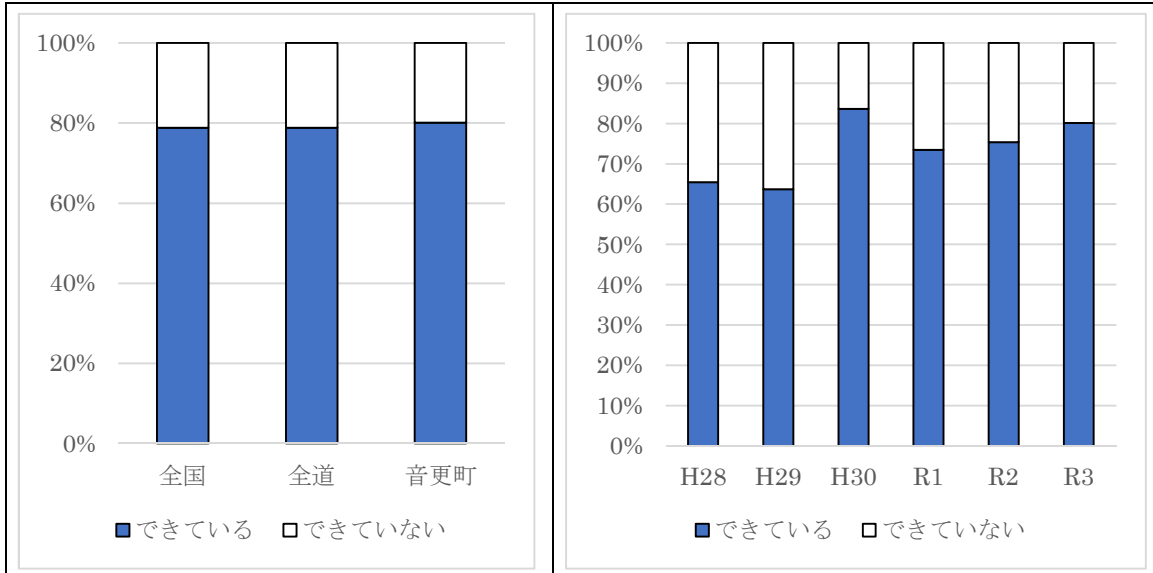
いますか。

※グラフの「できている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

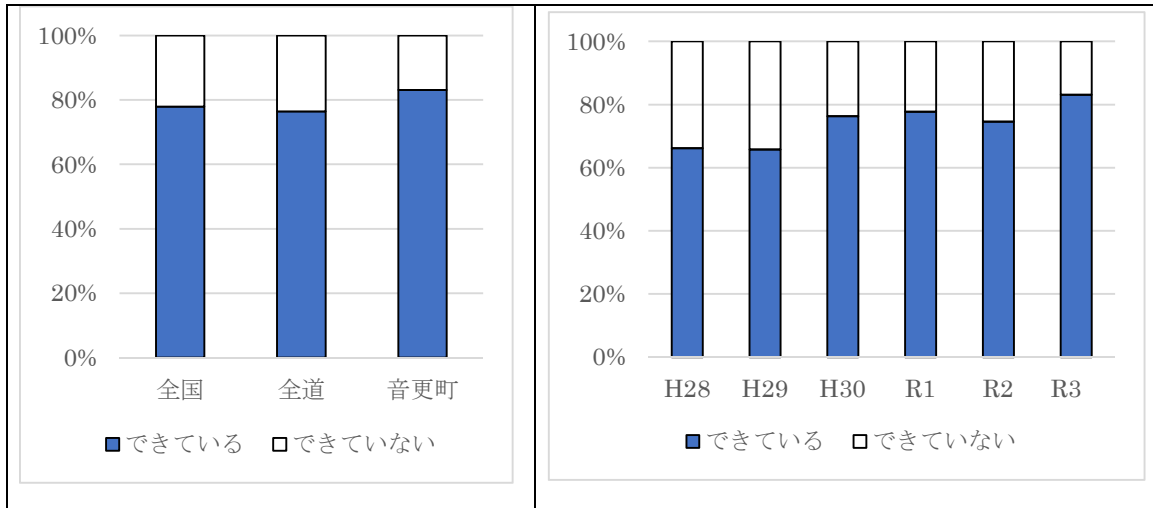


「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は、全国・全道ともに1.3ポイント上回った。経年比較では、前回は6.6ポイント上回っており、80%に達している。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



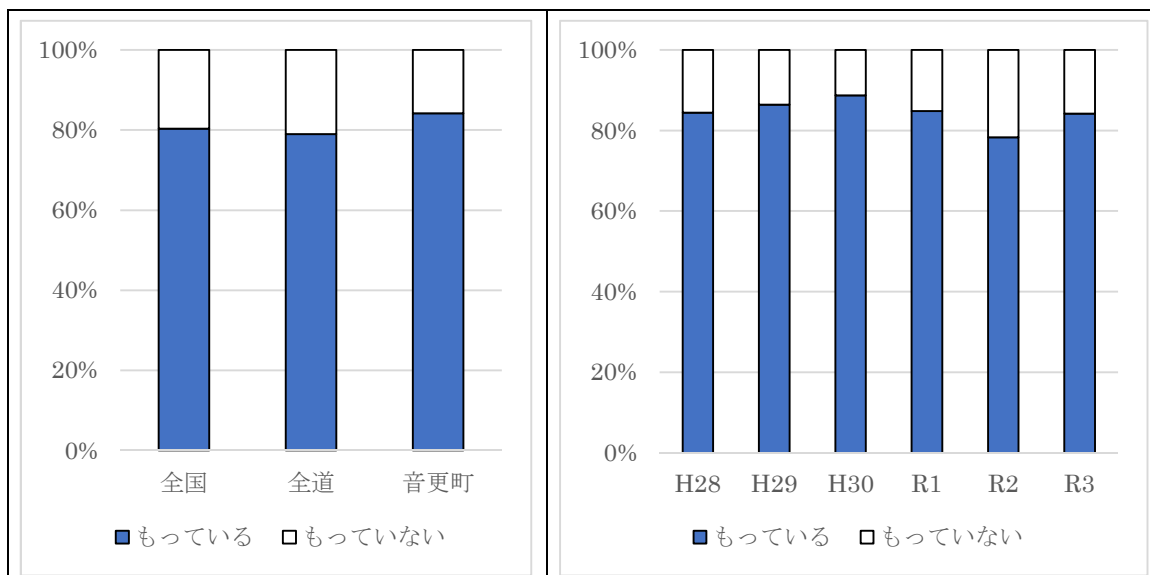
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は、83%で、全国を5.2ポイント、全道を6.7ポイント上回った。経年比較では、「できている」の回答率がH30年度から徐々に上昇してきている。今年度は前回はさらに5.3ポイント上回る結果となり、上昇傾向が続いている。

5. 将来の夢や目標をもっていますか。

※グラフの「もっている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計
 <小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

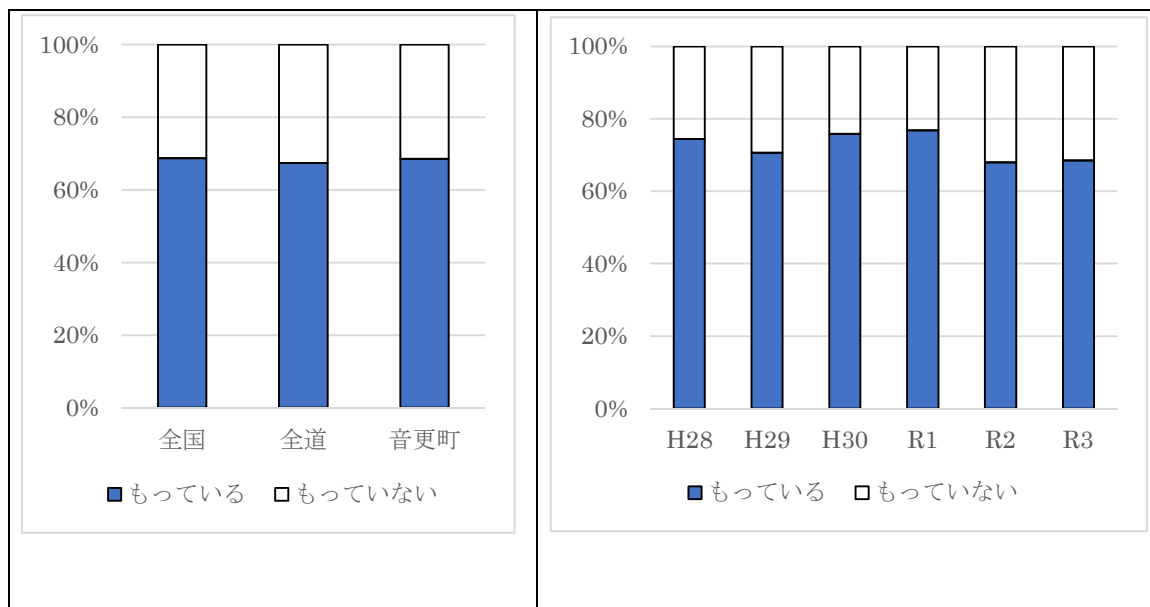


「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は、全国より 3.9 ポイント、全道より 5.2 ポイント上回った。経年比較では、「もっている」の回答率が H30 年度を境に少しずつだが下降しており、今年度は前回より 0.6 ポイント下回っている。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は、全国とほぼ同率であった。経年比較では、H28 年度から前回までは 70%を超えていたが、今回は 68.5%であり、前回は 8.3 ポイント下回る結果となった。

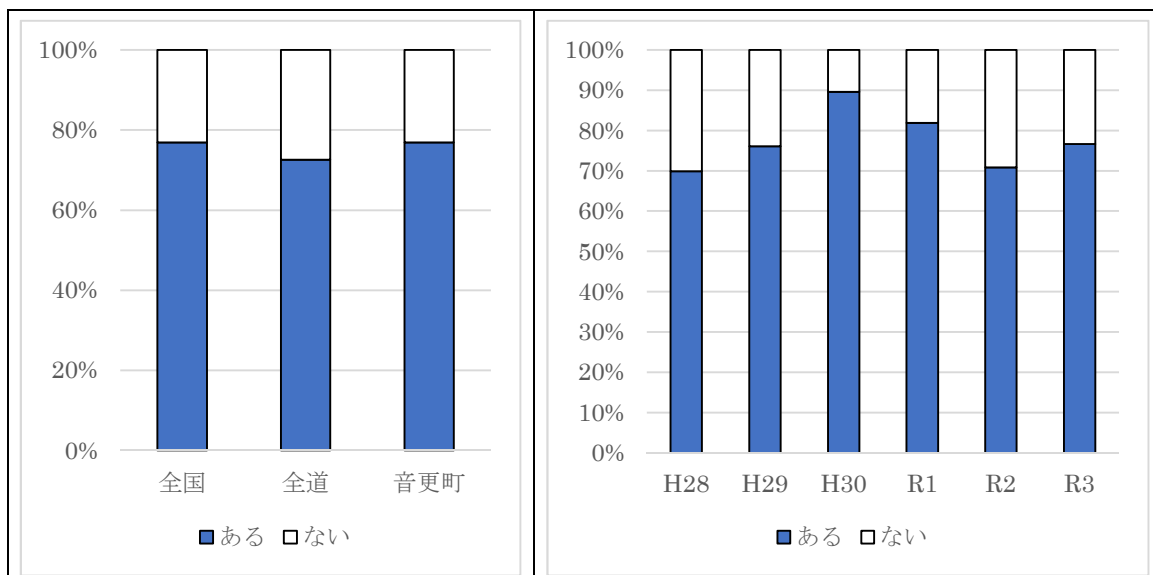
6. 自分には、よいところがあると思いますか。

※グラフの「ある」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

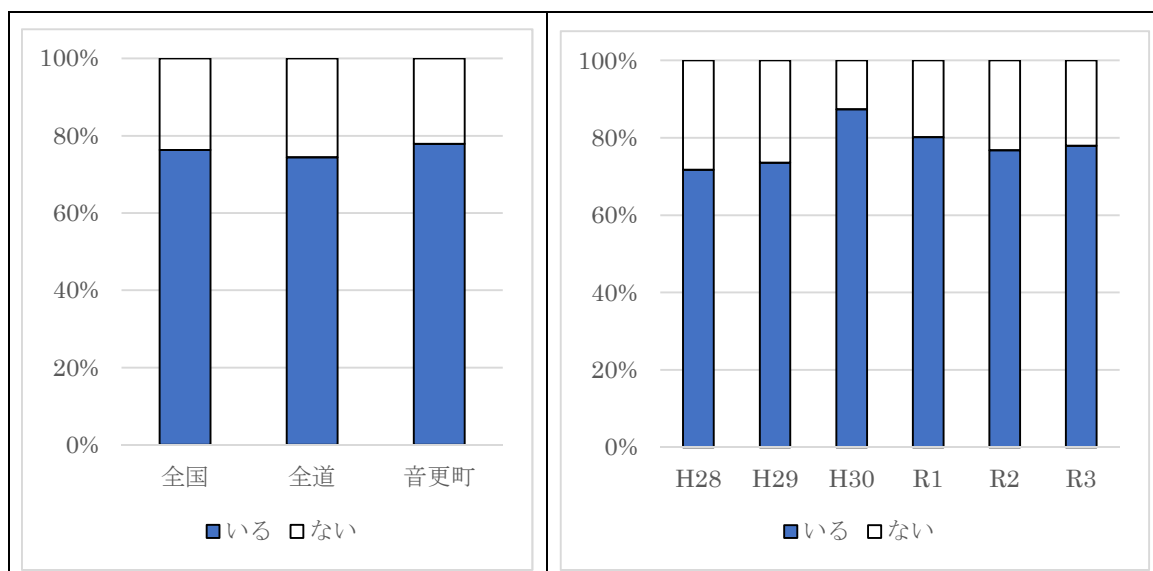


「自分には、よいところがある」と回答した割合は 75.9%で、全国とは同値、全道を 4.3 ポイント上回っている。経年比較では、「ある」の回答率が今回は 75.9%で、前回は 6 ポイント下回った。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「自分には、よいところがある」と回答した割合は 78%で、全国を 1.8 ポイント、全道を 3.5 ポイント上回った。経年比較では、「ある」の回答率が今回は 78%で、前回は 2.2 ポイント下回った。

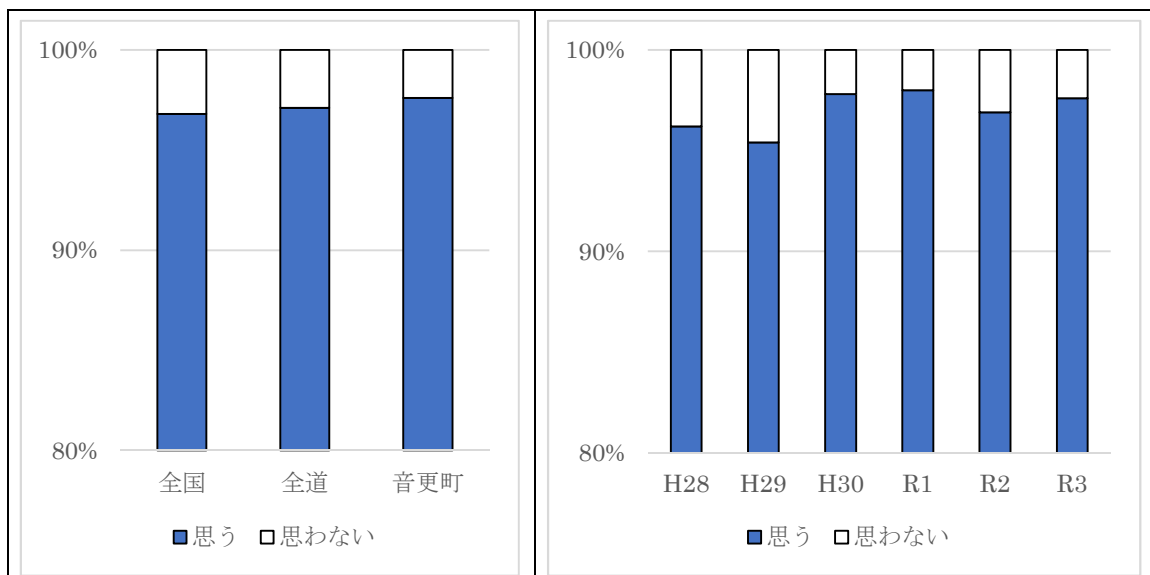
7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

※グラフの「思う」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

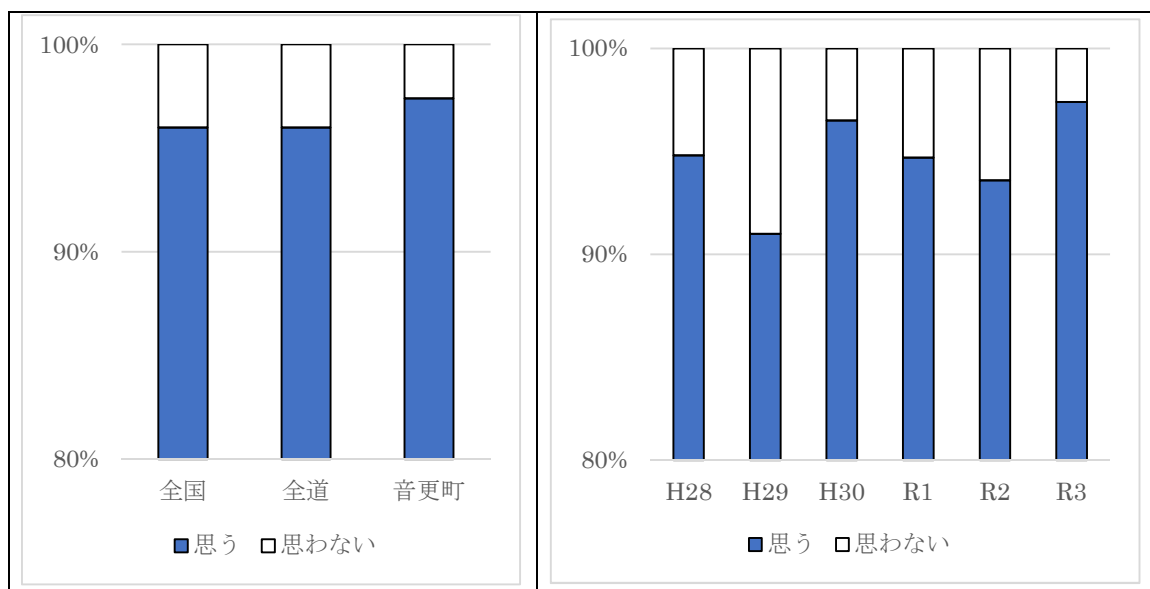


「いじめはどんなことがあってもいけにこと」と回答した割合が、97.6%であり、全国・全道を若干上回っている。経年比較では、「思う」の回答率が今年度は前回よりわずかに下がったが100%が目前の高い水準を維持している。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「いじめはどんなことがあってもいけにこと」と回答した割合が、全国・全道・音更町ともに95%を超えており、音更町が若干上回っている。経年比較では、「思う」と回答した割合が前回は2.7ポイント上回る高い数値を示しており、いじめに対する認識が高い。

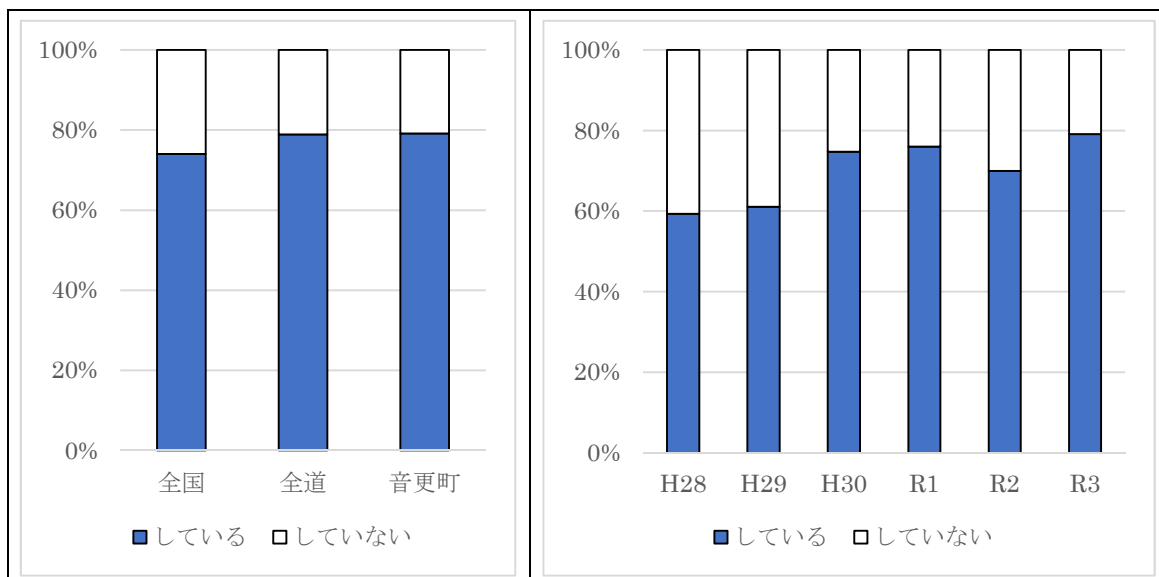
8. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※グラフの「している」は、「している」・「どちらかといえば、している」の合計

<小学校>

【令和3年度】

【経年変化】

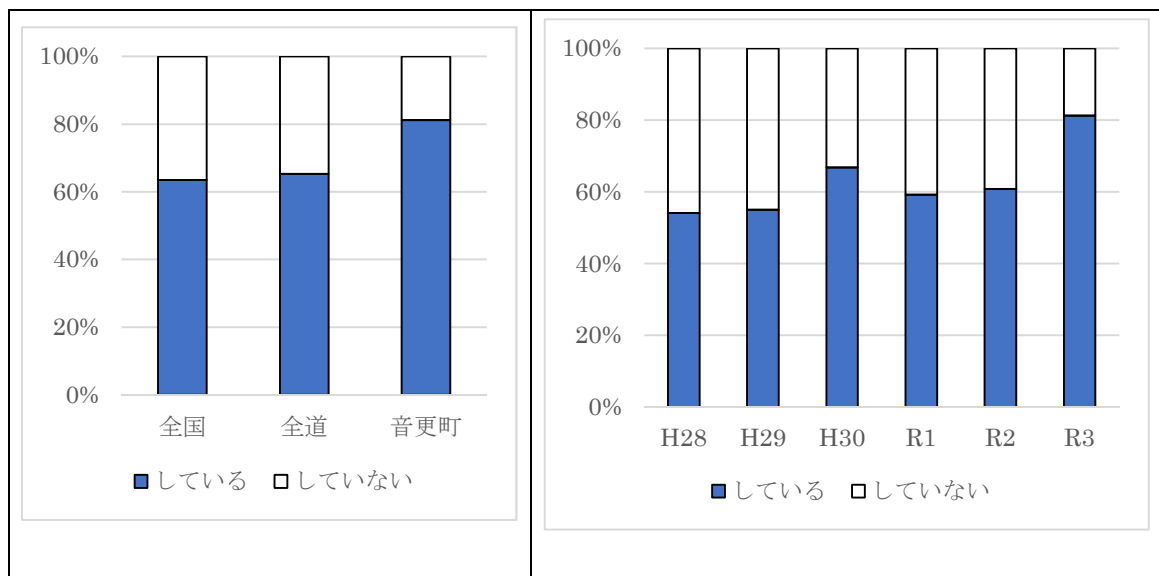


「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合が、全国より 5.1 ポイント、全道より 0.2 ポイント高くなっている。経年比較では、「している」の回答率が 79.1%で、前回は 3.2 ポイント上回っており、H30 年度に 74%を超えてから上昇傾向である。

<中学校>

【令和3年度】

【経年変化】



「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合は 81.3%で、全国・全道より 15 ポイント以上高い結果となった。経年比較では、「している」の回答率が前回は 22.1%と大きく上回っている。